

# 安全対策連絡協議会（概要）

## 1 開催日時

平成 28 年 9 月 6 日（火） 12：30～14：00

## 2 開催場所

在シンガポール日本国大使館 1 階会議室

## 3 出席者

別添のとおり

## 4 議事概要

### （1）ジカウイルス感染症の現状とシンガポール政府の取組

在シンガポール日本国大使館より説明

### （2）ジカウイルスに感染しないための対策

在シンガポール日本国大使館より説明

### （3）参加メンバーからの情報提供等

- そもそもジカウイルス感染症の症状は軽度であり、数日様子を見れば回復する症例が軽微な上、これらのジカウイルス感染症に特異的な症状というわけではなく、ウイルス感染症に非特異的に認められる症状であるため、流行が無い段階での診断は極めて難しい。発熱といっても 37～38 度前後、発疹、結膜炎も発症する。また、ウイルス性の発疹は通常かゆみを生じないが、ジカウイルス感染症の場合はかゆみを伴うといった特徴がある。また、デング熱の場合、症状が治まっても体中に疲れが残る、体が痛いといった症状が見られるのに対し、ジカウイルス感染症ではそうした症状は見られない。
- 虫除けに使われるディートについて誤解があるといけないので説明したい。一般的に、ディートの濃度は（虫除け）効果の持続時間と関係している。例えば、成分量が 10%であれば3時間効力が続く（注：5%で1時間半、20%で4時間続く場合がある。）と考えれば良い。また、ディートが人体に影響があるのではないかとといった指摘があり、乳幼児には使用しないことといった使用上の注意が記載されている。こうしたことから、乳幼児には使用しない方が良いと考えるが、一般にそこまでご心配される必要もない。なお、シンガポールではすでに「ディート」も売り切れになっているが、「ピカリジン」という虫除けの効果がある成分を含んだ製品があることもご案内したい。
- シンガポールでは、現時点で 200 人以上のジカウイルス感染者が確認されている。しかしながら、ジカウイルス感染症は、感染しても 8 割の方は発症しないこ

とを考慮すると、（症状を有する感染者の5倍の）約 1,000 人の感染者が既にシンガポール国内にいと推測される。

ジカウイルスは、1947年にアフリカのウガンダでサルから発見（参考：ヒトへの最初の感染例は1952年）され、アジア、アメリカに伝わったとされているが、これまでは小頭症の報告は少なかった。ジカ熱そのものは、マレーシアやインドネシアでは昔から地元であったようだが、ここにきて南アメリカ等で流行し、小頭症の症例が数多く確認された。最近では、2007年にヤップ島で、2013年にフランス領ポリネシアで流行し、特にフランス領ポリネシアでは神経症状を有する患者が数多く確認され、この中にやはり小頭症の症例も含まれていたようである。

こうした症状は、これまでアフリカ、アジアに広まっているジカウイルスが原因で生じる症状と異なることから、ウイルスのタイプが変わった可能性もある、と考えられている。

また、ブラジルで発生したジカウイルス感染症の患者を基にした調査において、感染が確認された妊婦のうち 13%に小頭症の症状が見られたとの報告も一部ではあり、ジカウイルス感染症と小頭症の因果関係が疑われている。確定的なことは申し上げられないが、ブラジルでの症例をまとめた論文では、ジカ熱に、妊娠初期の13週までに感染した場合に小頭症との関連性が報告されており、胎児の神経系が形成される週数を踏まえると、妊娠20週を過ぎれば心配は和らぐのではないかと考えている。また、現時点においてワクチンもなく対症療法（症状を軽減するための治療）を取らざるを得ないが、小頭症はジカウイルス感染症のみを原因として発症するのではなく、例えば風疹にかかった方も小頭症の症状が発生する場合がある。

現在、妊婦及び妊娠を予定している方から、日本に帰った方が良いかと相談されることがある。こういった方には「帰国することを止めません」という対応をしている。

ディートについて、虫除け剤として既に50年以上使用されてきた歴史があり、妊婦にも安全とされている。もし、ディートの毒性が心配であれば、例えば洋服の上から虫除け剤を塗布する、ディートの成分を吸い込まないなど工夫をして使用してはどうか。

- 日本政府としてジカウイルスに対するワクチンの開発に向けた動きがあるが、現時点では実用化のメドは立っていない。
- デングとジカウイルスはともにフラビウイルスであるため抗体検査で判別することはできない。ウイルスを分離して検査を行うRT-PCR法でも検査の結果を得るまでには今は1週間ほどかかる。
- 虫除け剤の日本からの持ち込みについてご案内したい。一般的に、肌に直接塗布できる虫除け剤は機内への持ち込み、荷物の預け入れともに可能であるが、噴射式の虫除けスプレーは、機内への持ち込みはできず、荷物の預け入れのみとなる。ただし、虫除けスプレーによって噴射の強度も異なるため、航空会社によって対応も異なる場合があることから、虫除け剤を持ち込まれる際には航空会社に問い合わせることをおすすめしたい。

- 質問だが、現状のジカウイルスの感染がどのような状態になったら収束したと言えるのか。また、発症していないジカウイルス感染者の体内での免疫はどうなっているのか。
- どうなれば収束したと言えるのかは分からない。デング熱の例を見ても、年によって感染者数は増減するため、デング熱の感染を例にとってもどの時点をもって収束したと言うのかは難しい。一般にウイルスに感染すると体内では抗体ができることから感染はしづらくなるとは言われているが、デング熱の場合は1回目に感染したときよりも2回目に感染した時の方が症状は重くなる。また、ジカウイルスの場合は2回目に感染したときがどうなるのかは分からないが少なくとも1、2年は見ないと行けないのではないか。
- どの段階で収束したと言えるのかは分からない。デング熱は2006年に感染者数が14,000人となり、それまでの最多を記録したことから、シンガポール政府は様々な対策を試みた。一時的にかなりの減少が認められたが、2013年には2万人を超える患者数となってしまった。今年も既に1万人を超えている。また、チクングンヤは2008年にシンガポールに入り、感染者は700人、以後は1,000人程度であるが排除には成功しておらずシンガポールに土着してしまった。こうした例を見ると同じネッタイシマカが媒介するジカウイルス感染症がこの島から一掃されるのはかなり難しいと言えると思う。
- 市内のドラッグストアでは虫除け剤が品不足となっているが、いつになったら解消されるのか。また、ディートフリーの虫除け剤が販売されているが、これはどの程度の効果があると考えればよいのか。
- ディートフリーの虫除け剤は、ディートが入っているよりも効果は薄く、一方で何も付けないよりは何かの効果があるという印象を持つ。
- 9月1日から幼稚園が始まった。蚊の発生を防止するために、週に1回の虫の駆除を実施するとともに、毎日の見回りでは水たまりができていないかチェックをしている。特に、遊具や園児が遊んでそのまま放置されたおもちゃに雨が降ると、水たまりが出来やすいので必ず見回り際には回収するようにしている、また、環境庁より、蚊の予防に関するリーフレット・電子媒体を配布されているのでスタッフは目を通し、各家庭にも対策を呼びかけている。なお、先日遠足を実施しジカウイルスへの感染が心配という理由で遠足に行かなかった児童は3人であった。また、蚊に刺されないよう長袖、長ズボンを着用することを徹底したいと考えている。
- クレアでは、東京の本部を通じてシンガポールに出張される自治体に対してはジカウイルス感染症に関する情報を提供している。なお、これまでシンガポールのジカウイルス感染症の現状について、1つの自治体から問い合わせがあった。
- これまでのところ、ジカウイルスを理由として約100人の（シンガポール旅行）キャンセルがあった。また、2月に予定されていた修学旅行のキャンセルが1件あった。
- ジカウイルスを理由としたキャンセルはまだ聞いていないが、楽観視していない。
- 若い女性が多く社内の関心も高い。朝礼時にジカウイルスの現状を説明するとともに注意を呼びかけている。

- ジカウイルス感染症の症状の疑いのある患者が来院した実績は今のところないが、相談は受け付けており、検査は行っている。ジカウイルスに感染しているかどうかの検査には、尿検査と血液検査があるが、尿検査の方が検出期間は長いとされている。
- ジカウイルス感染症に適切に対応していくためには、こうした形で情報共有をしていく必要がある。大使館としても新たな情報があれば速やかに情報を提供して対応をすすめていきたい。

以上

別添  
平成28年9月6日

### 安全対策連絡協議会出席者リスト

日時：平成28年9月6日 12:30～14:00  
場所：大使館会議室（1階）

#### 1. 出席者

##### （1）協議会メンバー（12名）

日本人会	池上事務局長
JCCI	中島理事代理（江川理事代理）
JCCI	長尾事務局長
日本人学校	嶋中教頭（高橋事務局長代理）
早稲田渋谷	桑原教頭（平野事務局長代理）
日本人幼稚園	楠本理事長
日本航空	山下支店長
全日空	成田総務マネージャー（富田支店長代理）
JTB	作田支店長
JNTO	上園（氏）（三宅所長代理）
DBJ	北所社長
CLAIR	橋本所長

##### （2）医療関係（3名）

日本人会クリニック	日暮浩実医師
日本メディカルケアー	鍋島寛志医師
国立研究開発法人日本医療研究開発機構	中村所長

##### （3）当館（5名）

堤公使、武部書記官、那須書記官、西野領事、前島領事